

# ほくさい 5

JA HOKUSAI INFORMATION

2024・NO.335

JAほくさい公式  
Facebookページ  
最新情報を共有します。



いいね



JAほくさい公式  
LINEアカウント  
友だち募集中!



だのすきーん  
おかあさん

## 目次

特集「令和6年度 職員の新体制」	2
INFORMATION	5
営農ワンポイント	8
ニュースストーリー	9
きたかわべ通信／俳句	12
表紙の人／長寿バンザイ／うちのペット自慢	13
長島弁護士の法律相談	14
クロスワードパズル	15



 JA ほくさい





## 総代会の日程

JAほくさい第28回通常総代会及びこれに伴う地区別説明会を次により開催します。

◎参加者 総代 役員

◎地区別説明会

地区名	月日	時間	場所
行田	6月3日(月)	午後 6時30分 より	行田中央支店会議室
川里	6月4日(火)		川里中央支店会議室
羽生	6月5日(水)		本店会議室
加須	6月6日(木)		加須中央支店会議室
騎西	6月7日(金)		騎西中央支店会議室
北川辺	6月10日(月)		北川辺支店会議室
大利根	6月11日(火)		大利根中央支店会議室

◎総代会

〔日時〕 6月20日(木)

午後1時30分

〔場所〕 羽生市産業文化ホール 小ホール

## 理事会から

3月28日の議案

- ①令和6年度内部監査計画の策定について
- ②内部統制システム基本方針の一部変更について
- ③職制規程の一部変更について（業務分掌兼職務権限表の変更）
- ④労働関係規程の一部変更について
- ⑤令和6年度内部統制の整備・運用にかかる年間計画について
- ⑥JAほくさい人材育成基本方針の一部変更について
- ⑦令和6年度事業計画の設定について
- ⑧令和6年度信用の供与等の限度額について
- ⑨令和6年度理事会附議を要する大口信用供与等の額について
- ⑩令和6年度貸付金の利率の最高限度について
- ⑪令和6年度借入金の最高限度について
- ⑫令和6年度農業関連資金の金利軽減の考え方について
- ⑬賃貸住宅取得資金等にかかる特別貸出要領の一部変更について
- ⑭令和6年度賃貸住宅取得資金等にかかる金利軽減の考え方について
- ⑮令和6年度JAMマイカーローン金利軽減の考え方について
- ⑯令和6年度JAリフォームローン金利軽減の考え方について
- ⑰JA統一ローン融資要項（埼玉県農業信用基金協会保証）の一部変更について
- ⑱無担保ローン（三菱UFJニコス型）融資要項等の一部変更について
- ⑲JAバンクローン融資要項（協同住宅ローン（株）保証）の一部変更について
- ⑳令和6年度JA教育ローン（カード型三菱UFJニコス型）の金利軽減の考え方について
- ㉑令和6年度の余裕金運用について
- ㉒理事と組合との取引の承認について
- ㉓購買事業未収金の償却について
- ㉔職員への期末賞与の支給について

## 税務法律相談

6月3日に加須中央支店で開催

JAでは毎月、本店、行田中央支店、加須中央支店と会場を移して土地・建物や税務・法律に関する無料相談を行っています。

幅広い内容の相談に応じますので、お気軽にご相談ください。また、ご相談のある方は事前の予約をお願いします。

〔日時〕 6月3日(月)

午後1時30分より

※相談時間は1人30分です。

〔場所〕 JA加須中央支店  
〔ご予約窓口〕

JA本店 資産管理課  
(☎048-563-3000)  
または各支店窓口へ

## JAでは組合員のみなさまからの情報提供窓口を設置しています

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）及び農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話または封書にて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

連絡先：住所 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3

電話番号 048-561-6911 受付監事 常勤監事 高橋 浩 宛

お電話の場合は、月曜日～金曜日、午前9時～午後5時までの間をお願いします。（休日を除く）

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、別途窓口を設置しておりますので、そちらをご利用ください。  
※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

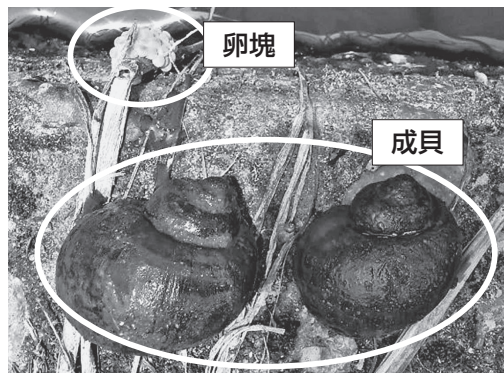
【一般苦情相談窓口】

住所 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3

電話番号 048-561-6911

担当部署名 企画管理部

## ジャンボタニシの防除対策（移植水田）



移植苗の食害を防止するため、以下の防除を実施することが重要です。

### ●水路に発生している場合

#### ■いつ・どのように

水路で越冬した大型の貝の侵入を防止するため、田植え前の入水時から田植え後3週間まで、取水口・排水口に9mm目合い程度のネットや金網を設置しましょう。

#### ■留意点

網の目が粗すぎると小さな貝がすり抜け、細かいゴミが溜まりやすいので注意しましょう。

### ●ほ場に発生している場合

#### 田植え時の薬剤散布

#### ■いつ・どのように

田植え時に、貝の発生状況に応じて、効果の高い薬剤を全面散布、貝が集まる深水部分へ重点的な散布等を実施してください。

### ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の特徴

成貝は殻高2～7cm程度

他のタニシ類と比較して、螺旋上部の長さが短く、殻径と殻高がほぼ同じです。また、長い触角とピンク色の卵塊が特徴です。

〔写真提供：HP埼玉の農作物病害虫写真集〕

#### ■留意点

確実な効果を得るため、散布後しばらくの間、止水管理が必要です。  
使用にあたっては、農薬の容器に表示された使用方法を必ず確認してください。  
※薬剤については各営農経済センターにお問合せください。

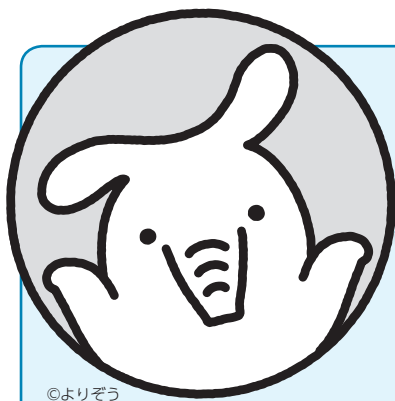
#### 田植え後の浅水管理

#### ■いつ・どのように

水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植え後3週間、水深を4cm（理想は1cm）以下に維持しましょう。

#### ■留意点

水田内を均等に保ち、水深が深くなる場所を減らすことが重要です。  
浅水管理が困難な場合は、薬剤散布との組み合わせにより被害を防止しましょう。



©よりぞう

# JAの **無料** 年金相談会

## ご参加お待ちしております!

### ■令和6年度これからの予定

日程	時間	開催店舗
6月15日(土)	9時～15時	行田中央支店 川里中央支店 羽生中央支店
8月17日(土)		加須中央支店 騎西中央支店 北川辺支店 大利根中央支店
10月19日(土)		行田中央支店 川里中央支店 羽生中央支店
12月21日(土)		加須中央支店 騎西中央支店 北川辺支店 大利根中央支店
2月15日(土)		行田中央支店 川里中央支店 羽生中央支店

※お申し込みの際は事前に当組合ホームページ等で最新の日程をご確認ください。

公的年金のお受取り年齢が近づいている方や現在受給している年金に疑問のある方。年金に精通した社会保険労務士があなたの疑問にきめ細やかにご答えします。これまで当JAとのお取引がない方からのご相談も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

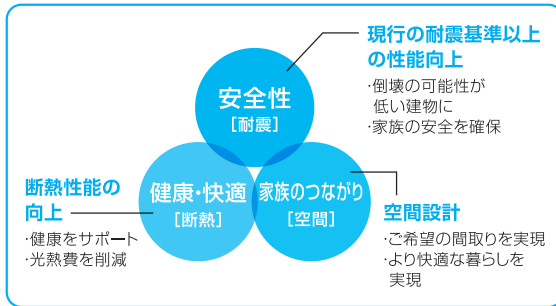
相談会は予約制です。ご希望の方は最寄りの支店窓口にお申し込みください。

JAほくさい組合員の皆さまへ

積水ハウス以外の建物のリフォームを承ります。

## 積水ハウス建設の リフォームでお住まいを さらに「安全・安心・快適」に

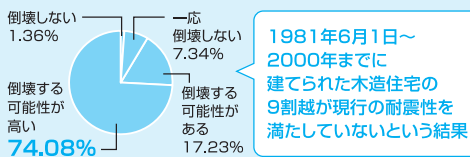
積水ハウス建設が大切にしていることは**現在の基準で安全・安心・快適なお住まい**として再生させること。特に家族と資産を守る**耐震化**、健康と地球環境を守る**省エネ化**で皆さまに貢献いたします。



### 無料 耐震診断キャンペーン 実施中!

240万戸の実績を重ねた積水ハウスグループの「木造住宅簡易耐震診断」を無料で承ります。

#### ■「81-00住宅」耐震診断結果(基本データ)



### 朗報 補助金で省エネリフォームをお得に!

国交省・経産省・環境省3省連携の「**大型補助金**」2024年もスタート。申請は積水ハウス建設が行います。

子育てエコホーム 支援事業	給湯 省エネ事業	先進的 窓リノベ事業	※交付申請期間は、2024年3月中下旬から予算上限に達するまで
リフォームでの 一戸あたりの 補助額	一般世帯で <b>最大250万円</b>	子育て世帯・若年夫婦世帯で <b>最大265万円</b>	

お問い合わせ JAほくさい 資産管理課

TEL.048-563-3000

施工業者



積水ハウス建設関東株式会社 建築土木事業部



# 施設野菜における新規資材を活用した土壌還元消毒について

30℃以上が理想であるため、土壌還元消毒は晴れ間の続く地温の高い夏場に3週間程度実施します。

トマトやきゅうりといった施設野菜は連作により、青枯病やセンチュウ等の土壌伝染性病害虫が発生し、安定生産にとって問題となります。

土壌病害虫対策は一般的に、土壌くん蒸剤による土壌消毒を実施していましたが、土壌くん蒸剤は環境や処理時の負担が大きいため、環境や処理者の体にやさしい土壌還元消毒技術が開発されました。

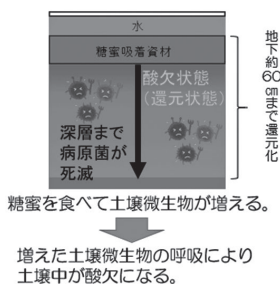
今回は、薬剤を使用しない、土壌の深層部まで消毒効果のある新規資材を活用した土壌還元消毒技術について、現地で行った事例も含め、紹介します。

## 【土壌還元消毒(還元)】

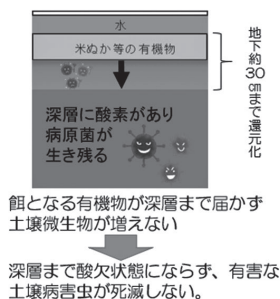
この土壌還元消毒は有機物を利用して、土壌を酸欠(還元状態)にすることで病害虫を死滅させます。

有機物の分解促進は、地温

### 新規土壌還元消毒



### 通常の土壌還元消毒



## 【糖蜜吸着資材を活用した還元消毒】



令和5年度に行田市のきゅうり農家で糖蜜吸着資材を利用した土壌還元消毒を実施しました。

ほ場1000㎡のうち一部で糖蜜吸着資材を利用した還元消毒、対照区で太陽熱消毒を行い、結果を比較しました。比較は消毒の前後でサンプリングした土壌中のセンチュウ数をカウントする方法です。消毒前は両区ともセンチュウが2000匹程度でしたが、消毒後は還元消毒区では0匹になりました。太陽熱区

では100匹程度の生き残りがあり、還元消毒の効果を実感しました。

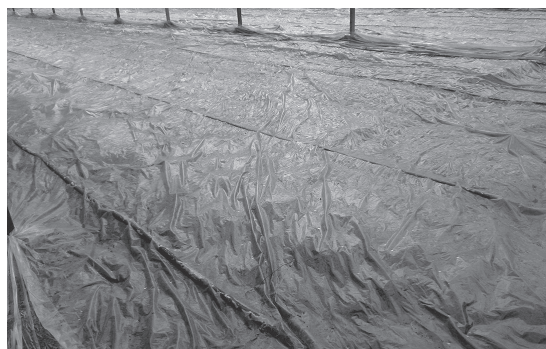
糖蜜吸着資材は粘性が強く、団子状にまとまってしまう。資材を手で散布しましたが、非常に重労働でした。当資材を使用する際は、ブレンドソーワなどの散布機械が必要と考えます。

資材は10aあたり15万円程度です。米ぬかやフスマなどと比較すると高価ですが、2年に一回の利用で効果が得られます。

## 【低濃度エタノールを使用した土壌還元消毒】

令和4年度に初めて加須市北川辺地域のトマト農家で導入され、徐々に広まりつつある土壌還元消毒です。

これは低濃度エタノールを土壌に灌水処理することで土壌微生物群を活性化し、土壌の還元を促します。それにより、薬剤では消毒しきれない土壌の深層まで消毒可能になります。



令和4年度作で取り組んだ生産者の実施ほ場では、トマト栽培において問題となっていたフザリウム菌による立枯病などの土壌病害を減らすことができました。

この方法では、チューブからの灌水で作業が可能のため、ほ場に資材を撒く手間がなく、労力が掛からないなどの利点もあります。この地域では、令和5年度作では実施者が4名に増加しました。

加須農林振興センター

農業支援部

☎0480(6)3911

## 行田豆吉クラブが農村地域文化賞奨励賞受賞



賞状を手にする小松会長と大塚組合長

行田豆吉クラブは、行田在来枝豆の「さきたまめ」の栽培を復活させ、ブランド化及び販路を拡大したことが評価され、(一財)農協福祉事業団が主催する「第36回農村地域文化賞」で奨励賞を受賞しました。

3月29日に、同クラブの小松裕幸代表がJAを訪れ、受賞を報告しました。

小松代表は「同クラブ会員の努力が実を結んだ。関係機関の協力に感謝します」と喜びを語りました。

同クラブは、2014年に設立し現在会員7人、栽培面積は約2畝で、令和5年は「さきたまめ」を約4トンの出荷しました。

## 羽生地区年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

JA年金友の会羽生支部(箱島登会長)は3月15日に、羽生市の陸上競技場で、会員同士の親睦と交流を図ることを目的にグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。参加者は52名。

優勝は羽生地区の森田利勝さん。森田さんは「天候に恵まれ、楽しく仲間とプレーができた。ホールインワンも3本入り、優勝できた。5年振りの大会は、大変待ち遠しかった」と喜びを語りました。準優勝から6位は以下のとおりです。

準優勝:大澤薫さん(川俣地区) 第3位:渡辺光則さん(井泉地区) 第4位:奈良原良夫さん(岩瀬地区) 第5位:関口浩さん(川俣地区)、6位:入江陽子さん(川俣地区)



後列左から(入江さん、関口さん、奈良原さん)  
前列左から(箱島会長、大澤さん、森田さん、渡辺さん)

## JAがスマホ教室開催

JAは、高齢者にデジタルスキルを身に付けてもらうことで、豊かな生活や効率的な営農に繋げてもらおうと、毎年スマホ教室を開催しています。

3月12日に北川辺支店で、NTTドコモから講師を迎え、スマホ教室を開き、10名が参加しました。

参加者は、講師からスマホの操作やアプリのインストールの仕方などの指導を受けました。

参加者は「なれない操作で疲れたが、参加して良かった」と話していました。



北川辺支店で開催したスマホ教室の様子

また、3月6日に川里中央支店で6名が、3月7日に騎西中央支店で7名が参加し、スマホ教室を開催しました。

## JAが横断旗寄贈

JAは、春の新入学時期にあわせて管内の小学校に横断旗を寄贈しました。

贈ったのは、横断旗学童用1270本と保護者用155本、交通安全雨傘980本。

この事業は、地域の未来を担う子ども達を交通事故から守りたいと、県福祉事業団の協力を得て毎年行っています。

加須市役所で3月8日に贈呈式が行われ、JAの山中哲大地域担当理事が同市の小野田誠教育長に手渡しました。

小野田教育長は「新年度4月から子ども達の安全な登下校の為に、役立たせていただきます。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



左から山中理事、小野田教育長、加須中央支店野口支店長

当組合ホームページでは、ニュースストーリー(9頁~11頁)に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。





A品のキュウリを確認する組合員

## 加須市園芸組合がキュウリの目ぞろえ会開催

加須市の加須市園芸組合は、3月26日に不動岡野菜集荷所で、無加温キュウリの目ぞろえ会を開き、同組合員やJA職員、JA全農さいたま、市場関係者ら35人が集まりました。

4月上旬のピークを前に規格の統一を図り、有利販売につなげることが目的です。今シーズンは天候が安定せず、生産者はハウスの温度をこまめに確認し、施設管理に細心の注意を払いました。

開会に先立ち同組合の内田幸夫組合長は「首都圏近郊の産地として鮮度のいいイボの立った加須産キュウリを1本でも多く出荷しよう」と呼びかけました。

この日の出荷は900ケース(5kg/1ケース)。A品を並べて、規格を確認しました。

生産者は26人で、5畝栽培。シーズン中約15万ケースを京浜市場に6月末まで出荷します。

## 梨の「花粉銀行」始動

加須市騎西梨撰果所利用組合は、品質の高い梨の生産安定に向けて4月1日から加須市騎西梨撰果所の「花粉銀行」で、開葯(かいやく)作業を始めました。

期間中の約10日間で18人の組合員が利用します。

今年は、昨年より天候が安定せず5日遅い始動となりました。主に「新興」や「松島」などの花粉を自家採取し使用するため、中国産の花粉は取り扱っておらず輸入停止の影響はありません。

4月6日に「花粉銀行」に訪れた同組合の谷部芳夫組合長は「梨の春作業が本格的に始まった。園地の管理を徹底し、盆頃には消費者に美味しい梨をお届けしたい」と意気込みを語りました。



開葯室で葯(やく)をセットする谷部組合長



野菜を受け取るフードパントリーの皆さんと、下山会長(前列左から4人目)及び同協議会員

## フードパントリーに農産物寄贈

北川辺青果物出荷協議会(下山房巳会長)は3月14日に、北川辺野菜集出荷所で会員が栽培したイチゴ10ケース(4パック/1ケース)、ネギ約200本、北川辺ブランドトマト「木甘坊」約600個の他、キュウリやナスを、また同日、株式会社山中農産(山中哲大代表)は加須中央支店で、ブロッコリー9コンテナを、加須市で子ども食堂及びフードパントリーを運営する団体に寄贈しました。

加須北子育て応援フードパントリーの関根由紀理事長は「児童に新鮮な野菜をいただけるのは大変ありがたい」と感謝の言葉を述べました。

同協議会下山会長は「イチゴもトマトも最盛期で味がのっている。今後も協議会員で力を合わせ、子ども達に地元野菜を届けたい」と話していました。

同社山中代表は、「地元で採れたブロッコリーを子ども達に味わってもらうことは地産地消の食育にも繋がる。今後も加須市やJAと連携して、地域貢献を行っていく」と力を込めました。

今回の野菜は、支援を必要とする240世帯に配布されました。



ブロッコリーを受け取るフードパントリーの皆さんと山中代表(後列左から5人目)及びJA職員

当組合ホームページでは、ニューストリー(9頁~11頁)に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。



田植えをする大谷代表

## 北川辺地区から田植え始まる

加須市北川辺地区の株式会社おおや農園（大谷寿男代表）は、4月14日に「コシヒカリ」の田植えを行いました。

同社は約46畝のほ場で、「コシヒカリ」の他、「あきたこまち」や「にじのきらめき」など8品種を栽培しています。令和2年より衛星利用測位システム（GPS）の精度を高める自動操舵補助システムを搭載したロボット田植え機を導入し、スマート農業を取り入れました。

大谷代表は「スマート農業を取り入れ省力化することで担い手不足を解消し、規模拡大にも繋げたい」と意気込みを語りました。

J Aはくさい管内では、7月上旬まで田植えが行われます。

## カーネーション出荷最盛

川里花き出荷協議会（大山博之会長）で4月中旬から母の日の鉢物カーネーションの出荷が始まりました。

同会でカーネーションを栽培するのは、13軒。

今シーズンは約44万鉢を全国の市場に出荷します。

川里宮農経済センターの営経渉外担当須山職員は「今年は2月が温かく、3月は雨が多い不順な天候でしたが、生産者の皆さんがこまめにハウス内の温度や湿度を確認し管理を徹底したので、母の日に向け順調に仕上がっている」と話していました。



出荷目のカーネーション



温湯消毒を行う松本さん④ら

## 温湯消毒で水稻種子の病害虫防除

J Aは、3月上旬から水稻種子の温湯消毒を始めました。水稻種子の温湯消毒は、種子伝染性病害虫防除を、薬剤を使わずに行う方法です。

3月22日に埼玉志多見育苗センターを訪れた松本邦男さんは、30袋（4<sup>キ</sup>。／1袋）の粳種を持ち込み、温湯消毒を行いました。

松本さんは「温湯消毒をすると、いよいよ春作業が始まったと思う。今年も美味しい米ができるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

## 加須市社協へ 農業まつり売上金を寄付

加須地域農業まつり運営委員会は、11月12日に開催した第42回加須地域農業まつりで集めたチャリティ募金を、加須市社会福祉協議会に寄付しました。

同委員会の山中哲大会長は、3月4日に加須市社会福祉協議会を訪れ、同協議会の福田英幸常務に寄付金を手渡しました。

福田常務は「加須市の福祉活動へ有効に活用させていただきます」と謝意を述べました。



左から山中会長、福田常務、加須中央支店野口支店長

当組合ホームページでは、ニュースストーリー（9頁～11頁）に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。



# 北川辺胡瓜・茄子部会

# きたかわペ通信

各地区の編集委員が自慢の人・モノ・場所をご紹介します。

今回は北川辺地区です。



北川辺胡瓜・茄子部会員の皆さん 左から新井英二さん、山中真雅さん、金子部会長、磯達司さん、染宮誠さん、斉藤実さん

北川辺胡瓜・茄子部会は平成20年に設立し、会員数6名で、キュウリは促成と無加温を約60㎡、ナスはハウスナスを約30㎡栽培しています。

令和4年度の出荷量はキュウリが約162ト、ナスが36トです。

今シーズンから出荷先を埼玉県中央青果に変更しました。

目ぞろえ会で金子操部会長は、「新しい市場になって2度目の目ぞろえ会、気持ちを新たにし、より良い品物を出荷したい」と熱い想いを述べました。

出荷は7月上旬まで続きます。



3月11日に北川辺野菜集荷所で開催したキュウリとナスの目ぞろえ会の様子

# 俳句

折原野歩留 選

髪染めて春の愁いを軽くする

北川辺 江田尚可子

(評)春愁とはそこはかとなない春の哀愁を言う。人間生きていればいろいろな思いにかられる。特に春はその傾向が強いと言われ季語になっている。髪の毛を染めてその愁いも流して軽くなったのであろう。女性ならではの句である。

背ににじむ汗を力に続投す 大利根 野口 勇一

蛇穴を出でて野菜の値を計り 行田 萩原 増夫

猫の恋あんな一途に生きられず 騎西 泉津井 清

啓蟹やミクロの命飛び出せり 川里 根岸 栄一

春逝くや猫のありしの爪の跡 川里 黒巢 友子

春耕や小走りの鳥現れる 行田 井上美智子

車座の子等の企み草若葉 行田 須加 信子

突風を飲み込み跳ねる鯉鱗 羽生 五月女文子

淡雪や想い出ひとつよみがえり 騎西 田沼 絹子

隙間なく咲ける盛りの緋のつじ 羽生 長瀬 三男

泳ぎ行き蝌蚪の落着く新天地 加須 樋口登美子

仰ぎみるビツクリ雛壇ピラミット 川里 田島 許子

青芝も雑木林も膨らみて 行田 木暮 浅代

農繁期ランドセルのまま野良に急ぐ 加須 永沼規美雄

代田水こんこん入り村動く 加須 荒井 王子

春の鴨あつけらかんと波枕 羽生 松永 喜芳

菜の花や利根の河原をうめつくす 加須 多田千代子

風薫る出掛けに貰う句集かな 羽生 木本 政秋

田一面足跡深くなごり雪 加須 出井 允子

旧家跡やぶ椿の花ひっそりと 加須 内田喜代子

紙風船昭和が匂ふ葉箱

野歩留

※7月号への投句は、5月24日(必着)までに、〒348-8513 JAほくさい営農支援課(住所不要)宛てにお願いします。

応募資格はJAほくさい管内にお住いの方。誌面等の都合により投句いただいたすべての方の句を掲載することはできませんので、あらかじめご了承ください。

## ① 相続分ゼロの相続人に特別寄与料を請求できる？ — 請求することはできない

## ② 約束違反で遺産分割をやり直したい — 相続人全員の合意ない限りできない



JAほくさい顧問弁護士  
弁護士法人 長島法律事務所  
弁護士 長島佑享氏

### 質問 ①

私Aは、妻Bと、妻の父Cと同居していました。Cは、脳梗塞の後遺症で体が動かなくなり、要介護3の状態になってしまいました。退職後の私は、仕事が多忙のBに代わり、Cが亡くなるまでの3年間、自宅をCを無償で介護しました。Cの相続人は、Bと、正月にも来なかったBの兄Dです。Cは「私の遺産はBに全部相続させる。Dの相続分はない。」と遺言していました。Dは、すぐにBに対して遺留分侵害額請求をしました。私は、BではなくDに、私の特別寄与料を請求できますか。

### 回答 ①

特別寄与料は、相続人ではない親族が、無償で被相続人を介護するなど、被相続人の財産が減らないようにした等の特別な寄与をした場合に、相続人に対して、寄与に応じた金銭の支払いを求める制度です（民法1050条）。Cは、Aの介護のおかげで、相当額の介護ヘルパー利用料を免れて財産が減らずに済んだといえますから、Aには、Cの相続人に対する特別寄与料を請求する事情がありません。特別寄与料を請求できる場合で相続人が複数のときは、各相続人は、特別寄与料の総額に、法定相続分（同法

900条、901条）や遺言で指定された、各人の相続分（民法902条）を掛けた額を負担します（同法1050条5項）。

Cの遺言では、Bが全てを相続し、Dの相続分は無いと指定されているので、Dに対して特別寄与料を請求することはできません。

Aとしては、「Dも遺留分があるから、特別寄与料を負担すべきだ」と思うかもしれませんが、

しかし、特別寄与料の計算では、相続分を乗じた額、と書かれており、遺留分とは書かれていないので、相続分が無く遺留分しかないDは、特別寄与料を負担しません（最高裁令和5年10月26日判決）。

### 質問 ②

父が亡くなり、相続人である母、兄、私の3人は、兄が遺産の大半を取得するとの遺産分割協議をしました。同時に、兄は、①私と仲良くする、②母と同居する、③母と同居して老後の世話に最善を尽くす、④先祖のお墓を守ると約束しました。

しかし、兄は、私や母と険悪な関係になり、母の食事の支度もせず果ては母を殴る始末です。やむなく私が母を引き取って扶養し、墓守もしています。

兄は、約束を破ったので、遺産分割協議を解除できませんか。

### 回答 ②

遺産分割協議の中には、相続人に何らかの約束等を守ることを条件とするものがあります。しかし、その約束等は、どの遺産を誰が取得するといった遺産分割の合意とは全く別の合意と考えられています。遺産分割は、相続時に遡って

遺産の帰属を決めるという特別の合意で、協議が成立すると同時に遺産分割に関する相互の債権債務を残さずに終了しますが、相続人間の約束等は、この遺産分割の合意とは別の合意なのです。したがって、約束等の不履行は遺産分割の不履行にはなりません。よって、相続人がこの約束

等を守らなかったとしても、それを理由として、別の合意である遺産分割協議を解除することはできません（最高裁平成元年2月9日判決）。

あなたも、兄が約束を守らないことを理由に遺産分割協議を解除することはできません。ただし、相続人全員の合意があれば、既にした遺産分割協議の全部又は一部の分割のやり直しをすることはできます（最高裁平成2年9月27日判決）。ですから、兄も含めた相続人全員が合意すれば遺産分割協議をやり直すことはできます。

なお、あなたが負担した母の扶養費用や墓守代は、兄に立替金として請求できる場合があります。







### クインシー メロン

5月上旬

◇熊本県産

赤い果肉が特徴のクインシーメロン。なめらかな口当たりと深みのある甘さが特徴です。



### アンデス メロン

6月上旬

◇茨城県産

茨城県鹿島灘の温暖な気候の中、美しい水と緑に恵まれた土地でみつばち交配により栽培されるアンデスメロン。全国でも屈指の品質と味を誇ります。

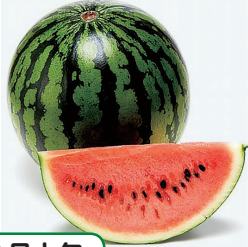


### 小玉スイカ

7月上旬

◇山形県産

味は大玉スイカと変わりませんが、皮が薄いので可食部分が多く甘みもあります。大玉スイカと比較すると種が半分なのが嬉しいポイントです。



### 尾花沢すいか

8月上旬

◇山形県産

すいかは昼と夜の温度差が大きいほどシャリ感に優れています。尾花沢すいかは澄んだ空気、きれいな水、自然の中で育った美味しいすいかです。



### 有田みかん

12月中旬

◇和歌山県産

燦々とふり注ぐ太陽に恵まれた地で育った有田みかんは、十分な日光を浴びて甘く美味しく育ちます。



### サンふじ (蜜入りりんご)

12月中旬

◇青森県産

豊かな自然環境と愛情で育てられた爽やかな美味しいりんごです。蜜入りは熟度が進んだりんごの証で熟目の目安とされています。



### 紅まどんな

12月中旬

◇愛媛県産

ハウス内で丁寧に栽培された柔らかい果肉です。食べやすくゼリーのような食感が特徴で、冬ギフトに最適な高級フルーツです。

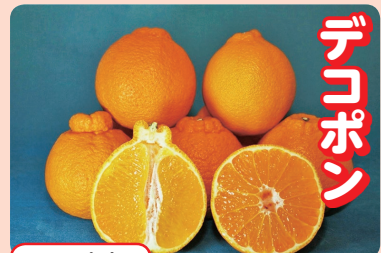


### 蔵出し いよかん

1月下旬

◇愛媛県産

日当たりの良い園地と指定された生産農家が食味を重視して育てました。年明けまで木熟させたものを1月に収穫し、1つ1つ手選別で箱詰めしたこだわりの伊予柑です。



### デコポン

2月中旬

◇愛媛県産

清見オレンジとポンカンを交配して作られた品種である不知火(しらぬい)。その中から甘みと酸味のバランスが良く、果汁が豊富な一定の基準を満たした高品質のもののみがデコポンとなります。



### 日向夏

3月上旬

◇愛媛県産

爽やかな香りと甘酸っぱい果肉、内側の白い皮には栄養がたくさん詰まっています。一緒に食べるとジューシーで大変美味しいです。

いちばん  
美味しいのは



です

四季折々の自然の恵みをご用意いたします

各営農経済センター窓口や  
外務デー等でご注文を承ります



JAほくさい  
ホームページ

